

TOSHIBA



2021 環境報告書

Environmental Report

ディスクリート半導体が支える、豊かな社会へ

加賀東芝エレクトロニクス株式会社

所在地：石川県能美市岩内町1番地1

創業：1986年1月

代表：取締役社長 徳永 英生

従業員数：約1500名

生産品目：ディスクリート半導体製造（小信号、パワーデバイス、オプト）

写真：構内に生息する石川県の準絶滅保護種「オオニガナ」

© KAGA TOSHIBA ELECTRONICS CORPORATION

■ 目次

Page.1	目次・持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けて
Page.2	ごあいさつ・会社概要
Page.3	環境負荷低減、環境コミュニケーション・生物多様性
Page.4	環境負荷低減(施策紹介)
Page.5	環境法令の順守・環境管理
Page.6	環境教育・異常想定訓練
Page.7	当社の環境方針
Page.8	編集方針

■ 持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けて



SDGsとは国際社会が持続可能な開発を実現するための重要な指針である17の目標です。東芝デバイス&ストレージ株式会社グループでは、SDGsの目標の多くが環境経営と密接な関係にあり、環境経営の推進によって達成に寄与すると考えています。

当社の事業活動に関連がある6の目標を、本報告書を通して紹介します。

4 質の高い教育をみんなに



「加賀東芝の森」森林整備活動を開催し、次世代を担う子供たちに環境に対する意識向上を図っています。(p.3)

6 安全な水とトイレを世界中に



使用した水資源は、受け入れ時よりきれいにしてから自然に戻すための取り組みを行っています。(p.3,5)

12 つくる責任 つかう責任



生産工程で発生する環境負荷と製造コストを同時に削減する“高効率モノづくり”を追求しています。(p.3,4,5,6)

13 気候変動に具体的な対策を



製品量産の過程で発生する温室効果ガスの削減に取り組んでいます。(p.3,4)

14 海の豊かさを守ろう



海洋汚染の原因の一つである廃プラスチックの認識を深めるため、環境教育を実施しています。(p.6)

15 陸の豊かさを守ろう



地域に密着して豊かな自然を未来へ繋げる活動として、森づくりの整備を推進しています。(p.3)

■ごあいさつ



加賀東芝エレクトロニクス株式会社

代表取締役社長 徳永英生

はじめに、新型コロナウイルス感染症により、皆様不自由な日々を強いられておりご苦勞も多いことと存じます。今後、その終息までには何回かの波もあり得ますが、必ず乗り越えられるものと信じ立ち向かっていきましょう。また、同時に新型コロナウイルス対応にご尽力されているエッセンシャルワーカーの皆様には心より敬意を表します。

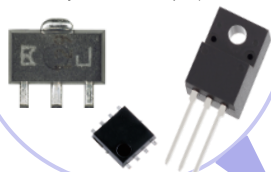
さて、当社は白山連峰や清い手取川をはじめとする自然豊かな北陸、石川の地でディスクリート半導体を製造しています。自然環境を保ち、社会貢献できる環境経営活動を目指して、コンプライアンスの徹底やエネルギー起源CO2排出量(電力使用量)削減、廃棄物排出量削減などの環境負荷低減施策の推進を行い、環境に配慮した生産活動を展開しています。また、省資源・省エネタイプのパワーデバイスの開発・製造を通して、現代社会が抱える環境課題の解決に少しでも貢献できるように製品創出を目指します。

“人と地球と明日のために”環境について考え、取り組んでまいります。

会社概要

加賀東芝エレクトロニクス株式会社は、**ディスクリート半導体製品**（小信号デバイス、パワーデバイス、ハイパワーデバイスなど）の**開発・製造**拠点です。また、ディスクリート半導体は、さまざまな機器に利用されており、**省エネルギーの実現**に大きな役割を担っています。

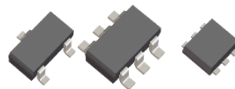
パワー
デバイス



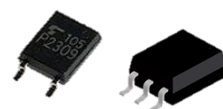
ハイパワー
デバイス



小信号
デバイス



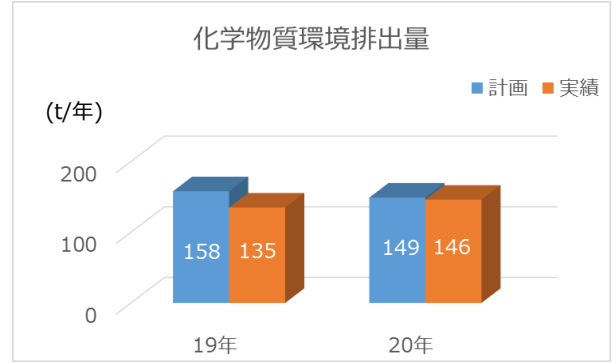
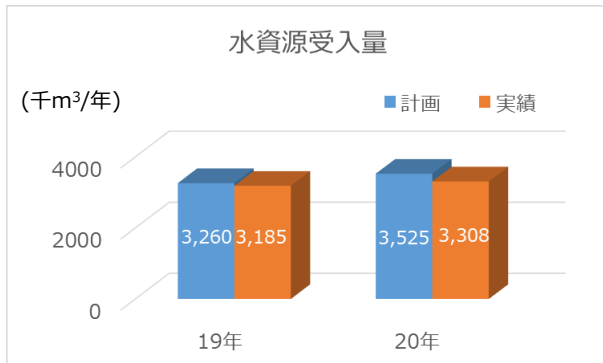
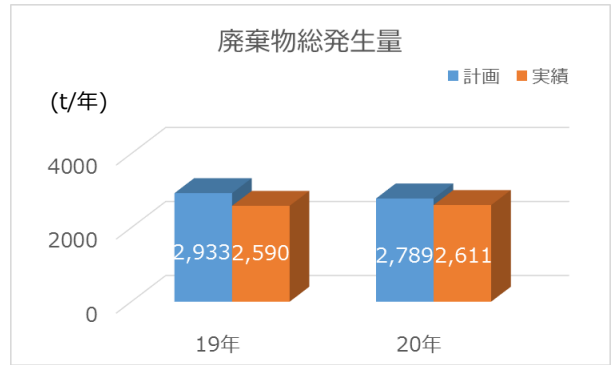
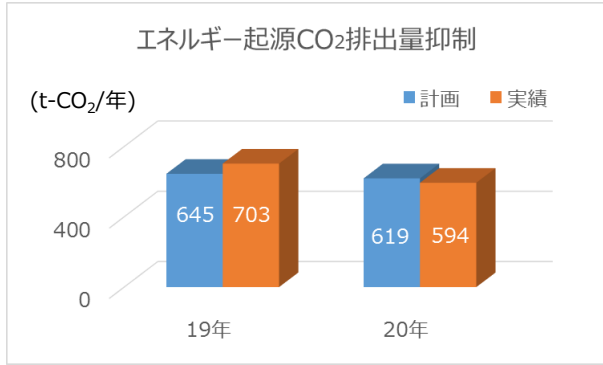
光半導体



環境負荷低減

環境目標の実績 ～環境に配慮した製造活動～

温暖化ガスや廃棄物など環境目標を設定し、発生量抑制に努力しています。



環境コミュニケーション・生物多様性活動

加賀東芝の森整備活動

毎年、100人を超える従業員で辰口丘陵公園内の一部の森林整備活動を行っていますが、2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために少人数で行いました。



生物多様性保全活動 ～石川県準絶滅保護種の植物保護～

会社敷地内に3種の植物が石川県の準絶滅保護種が生息しており、保全区域の整備、定点観測および保護を行っています。

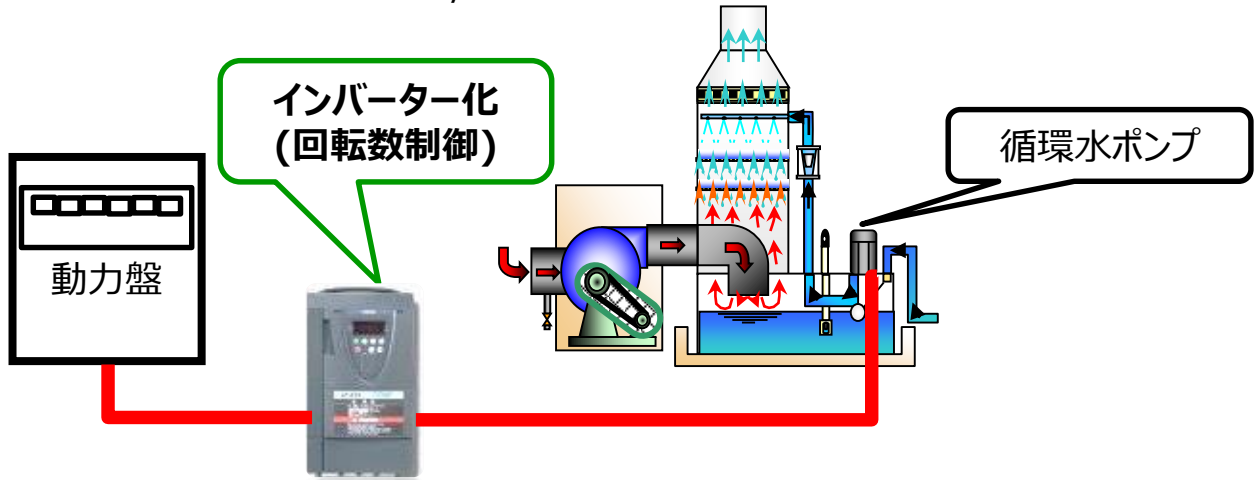




環境負荷低減(施策紹介)

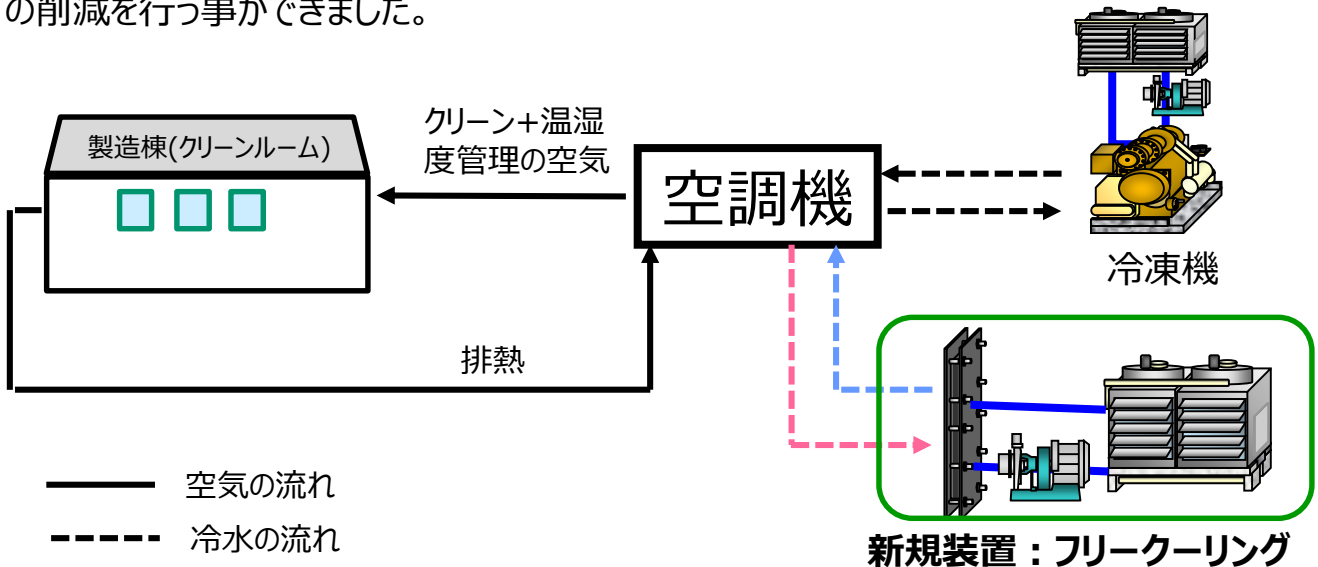
省エネ ～スクラバーの循環水ポンプインバーター化による電力削減～

半導体を作る際に様々なガスが発生しますが、スクラバーと呼ばれる装置で発生したガスを水に溶かし回収・処理します。これまでポンプを商用運転しバルブ開度による循環水調整をしていましたが、ポンプをインバーター化による回転数調整による循環水の調整で、電力を削減できました。現在、スクラバー14台に自動制御装置を導入し、電力の使用量をCO2排出量に換算すると44.7t-CO2/年の削減を行う事ができました。



省エネ ～フリークーリングによる削減～

半導体を製造する室内（クリーンルーム）は空気をきれいにし、温度・湿度を保つために空調機を使用します。空調機の排熱は冷凍機を通した冷水を使用しますが、多くの電力を消費します。そこで、冬場は冷気により冷水を冷やすフリークーリング装置を設置し、消費電力の削減を実施しています。電力の使用量をCO2排出量に換算すると9.5t-CO2/年の削減を行う事ができました。





■ 環境法令の順守・環境管理

排水管理 ～受け入れ時よりきれいに～

製造で使用した水は処理を行い、「手取川」に流しています。法令の規制値、協定値より厳しい自主管理値を設定し管理しています。
 ※実測値は2020年度平均

測定項目		単位	水質汚濁防止法	協定値	自主管理基準値	実測値
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	-	5.8~8.6	5.8~8.6	6.6~7.5	7.1
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	80	30	8	2.0
	化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	160	—	16	2.0
	浮遊物質	mg/l	120	90	12	5.0
	亜鉛含有量	mg/l	2	2	0.2	0.01
	全窒素含有量		—	—	22	12
有害物質	フッ素及びその化合物	mg/l	8	8	7	4.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/l	100	100	17	8.4

大気測定

クリーンルーム内の温湿度管理のためボイラーを所有しています。法令の規制値、協定値より厳しい自主管理値を設定し管理しています。
 ※実測値は2020年度最大

測定項目		単位	大気汚染防止法	協定値	自主管理基準値	実測値
ばいじん	炉筒煙管ボイラー-No.1	g/m ³ N	0.3	0.3	0.25	0.003
	小型貫流ボイラー		0.1	0.1	0.05	N D
窒素酸化物 (NOx)	炉筒煙管ボイラー	m ³ /h	180	180	150	100
	小型貫流ボイラー		150	150	130	26
硫黄酸化物 (SOx)	炉筒煙管ボイラー	ppm	17.48	8.75	0.88	0.05
	小型貫流ボイラー		0.88	0.44	0.04	N D

ISO14001外部審査・社内監査

～新型コロナウイルス感染拡大防止のためにリモートを活用～



定期立入調査

～石川県、能美市の立入調査～



■ 環境教育

環境教育 ～e-learning～

全従業員に昨今の地球環境問題、会社の環境への取り組み、環境法令などを毎年教育を実施しています。

1. 世界の潮流
 今、世界的な問題が懸念される中で、その問題を解決する為の目標やその問題に対して取り組む企業への見方が変化が起っています。

2. 東芝グループの取り組み
東芝グループ 長期環境ビジョン
 東芝グループでは、地球環境問題などの課題解決に貢献するため、「環境ビジョン2050」を設定しています。
■環境ビジョン2050
 「地球と調った人類の豊かな生活」を前提とし、その実現に向けた製品・サービス、ビジネスモデルの刷新をシフトしています。
 ・地球温暖化の防止
 ・資源の有効活用
 ・化学物質の管理
 など幅広い問題に取り組み、企業としての環境影響をできる限り低減し、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることをめざしています。

3. (TSDC)グループの取り組み「世間よし」
「世間よし」社会に貢献するために
希少種の生育 (加賀)
 県内各地において、オオニガナ、カシカエド、ネドトクサ等の希少種を生育、繁殖状況を観測しています。
「ホタルを呼び戻そう」活動 (RSC)(大分)
 2019年に環境学習を推進する島田川にホタルを呼び戻す活動を地域年商の町と協力をし、2019年にホタルを観察することができました。事業所から出る水がきれいであることの証明にもなっています。

リモートを活用した環境教育

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議室での集合教育をリモート教育に切り替え実施



省エネ標語の実施

省エネ意識向上のため、当社従業員、常駐会社に標語を募集し、優秀作品は掲示しています。

優秀作品5点

- コロナ禍で増える在宅電気代
知恵と工夫で省エネ生活
- 気持ちひとつで出来るエコ
節電・節水・明るい未来
- 見える無駄、見えない無駄
探して取り組む省エネ活動
- 重ね着も我が家の
素敵なエコライフ
- 誰もが出来る省エネ活動
見えないほどの小さな
一歩を積み上げて
- みんなで防ごう地球温暖化

■ 異常想定訓練

薬品等の構外漏洩を防ぐために様々な想定し、定期的に訓練を行っています。



■ 当社の環境方針

加賀東芝エレクトロニクス株式会社 環 境 方 針

— 理 念 —

加賀東芝エレクトロニクス株式会社は、東芝グループの経営理念である「人と、地球の、明日のために。」に基づき、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営により、持続可能な社会の実現に貢献し、新しい未来を始動させます。

— 方 針 —

加賀東芝エレクトロニクス株式会社は、東芝デバイス&ストレージ株式会社グループの環境方針に基づき、環境への取組みを企業経営の最重要課題の一つと位置づけます。白山連峰や清い手取川をはじめとする自然豊かな石川の地で、ディスクリート半導体の製造拠点として、製造、サービス、廃棄など全ての事業プロセスにおいて、ライフサイクルの視点に立って環境負荷の低減を経営と調和させながら積極的に行います。

また、最先端のパートランジスタの創出を通じて、エコカー、省エネ家電、太陽光発電機器等の省エネ・省資源により社会に貢献することを目指します。

1.倫理観と継続性

- 1) 環境に関する、法令、条例、協定、当社組織が同意した業界などの要求事項および自主基準などを遵守致します。
- 2) 環境活動レベル及び環境パフォーマンスの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、環境経営の効果的な運用を推進します。

2.実行

企業活動の実行においては、全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、製品の省エネルギー及び省資源開発・設計、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目標を設定して、積極的な環境施策を展開します。

- 1) 気候変動緩和のため、生産性向上、動力・製造設備を中心とした省エネ施策と温室効果ガス排出量抑制施策を推進し、地球温暖化防止に貢献します。
- 2) 循環経済への対応のために、事業活動に伴い投入する資源の最小化と3Rを推進し、廃棄物並びに水資源の有効活用に取り組みます。
- 3) 環境リスク低減のため、事業活動に伴い使用する化学物質の管理、取扱量並びに排出量の削減に取り組みます。
- 4) 自然との共生を図るため、生物多様性の維持・回復に取り組みます。
- 5) 環境に関する情報発信、社会活動への参画を進め、地域・社会との相互理解を推進致します。
- 6) 組織の従業員の環境意識を高め、環境に配慮した企業活動を当社敷地内の構内常駐会社およびその従業員を含む全部門・全従業員で実行します。

<この環境方針は、当社敷地内の構内常駐会社及びその従業員を含む全部門・全従業員、取引先等に周知するとともに、一般の人にも開示します。>

2021年 4月 1日
加賀東芝エレクトロニクス株式会社

取締役社長 徳永 英生

■ 編集方針

編集方針

本環境報告書は加賀東芝エレクトロニクス株式会社の**環境経営の取り組み**について、ステークホルダー※の皆様に開示しています。

なお、掲載内容は**2020年度の実績**を中心としています。

※当社の事業活動と関わりを持つ方のことです。

参考文献

本報告書の発行にあたり、環境省発行の「環境報告書ガイドライン」などを参考にしています。

報告の対象範囲

対象期間 : **2020年 4月～2021年 8月**

対象組織 : **加賀東芝エレクトロニクス株式会社 及び当社内の常駐会社**

加賀東芝エレクトロニクス株式会社

〒923-1293 石川県能美市岩内町1番地1

【お問い合わせ先】

施設管理部 環境保全担当

TEL : 0761-51-7817

FAX : 0761-51-7168